

定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

年 度	平成29年度	回 数	第11回
日 時	平成29年11月28日		午後2時～3時
場 所	庁議室(本庁舎 3 階)		
出 席 者	<p>渡部市長 荒井副市長 南部議会事務局長心得 小林経営政策部長 東村総務部長 大西市民部長 平岡環境安全部長 山口健康福祉部長 瀬川子ども家庭部次長 間野資源循環部長 粕谷まちづくり部長 田中教育部次長</p> <p style="text-align: center;">欠席者:森教育長</p>		
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度予算要求状況と歳入歳出の乖離について (2) 平成29年度東村山市版株主総会の評価結果について 3. その他 4. 閉会 		
会 議 経 過	次頁参照		

1. 開会(市長あいさつ)

・本日午前中、東京都市長会の役員として、並木羽村市長、加藤福生市長と東京都選出の国会議員、とくに税制調査会に所属をしている議員へ都市税財政の充実と確保についての要請を行ってきた。東京都市長会から二つの要求を出しており、一つは法人市民税の国税化については元に戻して欲しいということ、もう一つは昨今の政府並びに与党の税制調査会で議論されている地方消費税の見直しについてである。この見直しを行うと東京都全体では1千億から1千5百億円程度のマイナスとなることから、小池都知事を先頭に市長会、特別区長会それから町村会も反対の声をあげているが、全国的に見れば地方消費税の配分が増えるので、なかなか厳しい状況だ。法人市民税の一部国税化など、最近の税制改正は、大都市圏の自治体固有の財源を地方に配分するという流れが強く感じられる。消費税の考え方からすると、消費に着目しているので、消費が行われたところに配分すべきだと考える。このような税制改正が行われようとしていることを、ぜひ、幹部職員も認識を共有してもらいたいと思う。

・11月23日に行われた平成29年度東村山市版株主総会については、前年度の「3.42」という評価から「3.73」に上がった。今回は最初57名いたが2名途中退席されたので、投票された方は55名だが、55名のうち27名の方が「よくやっている」という評価だった。「全く物足りない」1点の方が1名、「物足りない」2点のかたが5名、合計6名マイナス評価の方がいたが、4点の評価が27名ということで、市役所なかなか頑張っているじゃないかという評価をいただけた。これは私一人のことではなくて、各部長はじめ職員の日頃の業務への取り組みをご評価していただいた賜物であり、厚く御礼申し上げたい。さらに当市の良い点を伸ばし、マイナス評価のところは改善していきながら、市民の満足度を高めていきたい。

2. 報告事項

(1) 平成30年度予算要求状況と歳入歳出の乖離について

・調整時点後の平成30年度当初予算要求状況について情報共有を行った。

(2) その他

〈平成29年度東村山市版株主総会の評価結果について〉

・評価結果は「3.73」という結果となった。「非常によくやっている」5点評価の10名を含め37名の方がプラスの評価をいただいた。傍聴には若い職員が来たほか、平成30年度入庁予定の方も、入庁内定者ガイダンスにあわせて見学し、良い試みだったと思う。今年度は例年よりグループワークの時間を多くとったが、今回特徴的だったのは、地域コミュニティの視点で、若い方をまちのお祭りに参加してもらおうなど、みんなでまちづくりを進めていった方が良いというよう

な意見も多く聞かれた。また、高齢者が働く場を作って欲しいという意見も多かった。市民の働き方改革も、当市にとっては大きな課題になっているので、引き続き検討していく。

3. その他

4. 閉会(副市長)

工事の関係で本庁舎は暖房が入っていないが、ぜひ身体に気をつけていただきたい。